

# 中高英語力 連続3年 本県1位

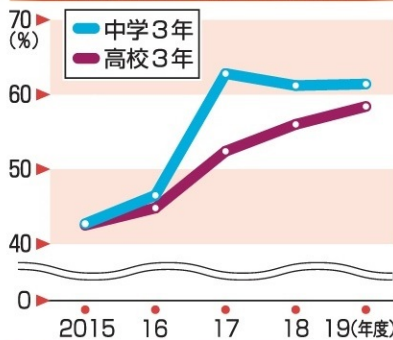
## 19年度文科省調査 教員もトップ

文部科学省は15日、全国の公立小中高校を対象にした2019年度英語教育実施状況調査の結果を公表した。福井県の中学3年生で「英検3級程度以上」の力がある生徒は61.4%(前年度比0.2ポイント増)、高校3年生の「英検準2級程度以上」

は58.4%(同2.4ポイント増)となり、ともに都道府県別で3年連続トップとなった。英検準1級以上を取得している福井県の中高英語教員の割合も全国1位だった。【3面に関連記事】

定都市、高校は都道府県ごとに実施。中3で英検3級相当、高3で準2級相当を取得した生徒のほか、学校の成績などを基に教員が「相当する力がある」と判断した生徒も含まれている。全国平均は中3が44.0%、高3は43.6%で、福井県は

福井県の生徒の英語力



いずれも大きく上回った。英検準1級以上を取得している福井県の英語教員は、中学が59.7%(同1.0ポイント増)、高校は93.9%(同2.5ポイント増)。こちらも中学38.1%、高校72.0%の全国平均を大きく上回っている。

2019年度の都道府県別上位

学年	1位	2位	3位
中学3年	1 福井 61.4%	2 岐阜 58.1%	3 千葉 53.5%
高校3年	1 福井 58.4%	2 富山 57.5%	3 秋田 53.6%

※中3は英検3級程度以上、高3は英検準2級程度以上の割合

生徒、教員とも高い英語力が証明されたことについて県教委は「授業は伝統的に英語で行い、改善も続けている。生徒も教員も着実にレベルが上がっている結果」と分析している。

(牧野将寛)